

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 3 7 回 相模原市地域保健医療審議会				
事務局 (担当課)		健康福祉局 保健衛生部 地域保健課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 4 1 (直通)				
開催日時		令和 4 年 1 0 月 2 4 日 (金) 1 9 時 3 0 分 ~ 2 0 時 5 0 分				
開催場所		W E B 会議及び対面会議 事務局：総合保健医療センター A 館 3 階 集団指導室				
出席者	委員	1 5 人 (別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	1 0 人 (健康福祉局長、保健衛生部長、保健所副所長、 地域保健課長、医療政策課長、健康増進課長他 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由						
議 題		1 あいさつ 2 議題 (1) 中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針 (案) について (2) 病床の公募について【報告】 (3) 相模原医療圏の病床について【報告】 (4) 健康づくりの推進に係る条例について【報告】 3 その他				

議 事 の 要 旨

原田会長のあいさつの後、議題について審議した。主な内容は次のとおり。

議題 1：中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針（案）について

【事務局説明】

資料 1 のとおり説明

【主な意見】

（土屋委員）

市内の医師育成機関や医療機関等と連携し、中山間地域に貢献できる医療従事者の確保に取り組むと記載してあるが、市内だけでは人員の確保に限界があるため、より広域的に取り組む方がよい。

（事務局）

付帯意見に反映していく

（鈴木委員）

市としては、長期的な医師の育成についてどう考えているか。

（事務局）

平成 25 年より北里大学や赤十字病院と協力し、地域医療に貢献できる修学医師の育成に取り組んでおり、これを継続していきたいと考えている。

（鈴木委員）

地方の無医村地域では、お金を出し合って生徒を学校に入れ、その代わり何年か村に残ってもらうという取組をしていると聞いたことがあり、こうした取組を進めてはどうかという意見を持っているが、これと同じような取組と理解した。

（小林委員）

資料 1 の 18 ページの付帯意見 2 の書き方について、「中山間地域の医療等に係る課題として、高齢化の進行等に伴う通院困難への対応が掲げられている」と記載があるが、他人事のように見えてしまうため、はっきり言い切る形に書き方を変更した方がいいのではないか。

（事務局）

修正を行う。

（原田（康）委員）

中山間地域には乗合いタクシーなどのサービスがすでにあり、高齢者医療だけでなく、買い物など日常生活全般に関する課題の解決に利用しているので、こうした公共のサービスや、サービスの導入にあたっていろいろと検討してこられた地域の会議体との連携を進めるよう検討していただきたい。

(事務局)

今あるサービスや会議体との連携も併せて進めていく。

(原田(康)委員)

付帯意見の1について、大きな病院の専門医が、月数回、地域のクリニックに出向いて治療にあたるという例もあると聞いている。中山間地域等の診療所にも、こうした事例を取り入れることができたらいいのではないかと考える。

(事務局)

そのような取組を進めるためには、条件に合う人材の確保が必要となると思われる。関係機関との調整が必要となってくるので、今後様々な意見を聞きながら、全体の制度設計を考えていく。

【採決】

(原田会長)

付帯意見についてこれまでの議論を反映させた上で、答申案として取りまとめ、答申書の作成については、会長にご一任いただくこととしてよろしいか。

《全会一致で異議なし》

議題2：病床の公募について【報告】

【事務局説明】

資料のとおり説明

【主な意見】

意見なし

議題3：相模原医療圏の病床について【報告】

【事務局説明】

令和4年9月に県知事へ要望書を提出し、保健医療計画推進会議にて審議された。審議は現在も継続中であり、今後、手続き上の特別な配慮を行うか否かについて、11月中旬ごろ開催予定の相模原地域地域医療構想調整会議にて、地域の医療関係者から意見を伺うこととなっている。その後、その内容を踏まえ、県知事が判断する。

継承先は武蔵野総合病院となっており、病床数が現在の東芝林間病院とほぼ同規模であるため、運営面の問題はないと考えている。

【主な意見】

(梅澤委員)

手続き上の特別な配慮とはどのようなものか。

(事務局)

本来、健康保険組合が運営している病院の事業継承は、医療法人に対して行うことができない。こうした場合は、保有している病床を返還し、自動的に廃院となるのが通例。本件については、通例の対応を取ると地域の医療に大きな影響が生じてしまうため、病床を返還せずに直接病院の運営を継承できるよう、特別な配慮をお願いしているところ。

議題4：健康づくりの推進に係る条例について【報告】

【事務局説明概要】

資料のとおり説明。

【主な意見】

(土屋委員)

他の都市に先立って条例の策定を進めており、評価できる。健康とは、身体面だけではなくメンタル面でも病気にならないことが必要であるが、現時点では、この点についての記載が具体的な内容になっていないように思われる。高齢者に対する生きがいづくり等を積極的に記載していったらいいか。

(事務局)

高齢の方や、相談相手がいない妊産婦の方の孤立、引きこもりの問題などを含め、心の健康については、地域社会とのつながりが重要である。施策の中で記載しているが、委員のご指摘を踏まえ、検討していく。

(佐藤(克)委員)

医師がしっかりと診断され、薬を適正に処方されても、患者の方々が適正な薬物治療を理解されていないと、健康にはつながらない。薬物乱用への対応の必要性も叫ばれる中、薬の適正使用の普及啓発について記載するべきと考える。

(事務局)

施策骨子案の中で、薬物乱用や喫煙・受動喫煙などの被害防止について記載しているところ。具体的な取組は計画の中で定めてまいりたい。

その他

(原田(康)委員)

中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針については、6診療所から3診療所に減らす方針となっているが、地域の意見をよく踏まえる必要があると考える。そもそも診療所を減らさなければならない状況には、患者数減や建物の老朽化などの原因がある。訪問医療を進めるとのことだが、例えば内郷診療所の経営状況が比較的よいのは整形外科があるためであるなどの分析もある中、高齢者にとって必要な医療を提供できれば、利用が増えるといったことも起こるのではないかと考える。利用者の増加については、今後も継続して考えていかなければならない

課題であるので、診療所の数を減らすことにより住民が不便を感じることはないよう、様々な観点から検討を進める必要がある。

(原田会長)

この6診療所は、県が管理していた診療所が3つ、市町合併前に各町の管理していた診療所が各1つずつ、合計3つあったものが、合併などによりすべて相模原市の管理となったものと承知している。1市に6診療所あることで財政的な厳しさがあり、また診療所同士の距離が近いことから診療圏が重複しているので、それぞれの診療所の運営上でも課題がある。こうした状況からも、今原田委員がおっしゃったような様々な問題が起きるので、いただいたご意見も踏まえながら、引き続き審議を進めてまいりたい。

(原田(康)委員)

訪問診療について、1人体制でも、外来と訪問診療それぞれの曜日を設けて周知することで、統合しなくても訪問診療を行えるのではないか

(事務局)

現在も依頼があれば、診療所を閉めた上で訪問診療を行っている。この方法では、外来を受けることができなくなるので、統合し2人体制で分担をした方が柔軟な対応を行うことができると考えている。

(原田会長)

その他、何かあるか。

(事務局)

次回の本審議会開催予定については、年明け1月ごろを予定している。また、市の保健医療計画を専門に審議する部会を、本年12月に開催する予定であるので、委員の皆様におかれてはご承知おきいただきたい。

《健康福祉局長よりあいさつ》

以 上

相模原市地域保健医療審議会 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	原田 工	(一社)相模原市医師会 副会長	会長	出席
2	佐藤 聡一郎	(一社)相模原市医師会 副会長		欠席
3	梅澤 慎一	(一社)相模原市医師会 理事		出席
4	土屋 敦	(公社)相模原市病院協会 会長		出席
5	大嶺 秀樹	(公社)相模原市歯科医師会 専務理事		出席
6	佐藤 克哉	(公社)相模原市薬剤師会 副会長		出席
7	阿部 徳子	(公社)神奈川県看護協会 相模原支部長		出席
8	黒子 信雄	相模原市自治会連合会 理事		欠席
9	小林 輝明	(福)相模原市社会福祉協議会 常務理事		出席
10	幸山 隆	相模原地域連合 事務局長		出席
11	伊藤 吉美	相模原市健康づくり普及員連絡会 副会長		出席
12	木下 淳一	(一社)相模原市獣医師会		出席
13	小山 日出野	(特非)男女共同参画さがみはら 理事		欠席
14	鈴木 貴市	相模原環境衛生協会 会長		出席
15	助川 秀一郎	相模原食品衛生協会 会長		欠席
16	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体わかな会 会長	副会長	出席
17	原口 あゆみ	(特非)神奈川県歯科衛生士会相模原支部 支部長		出席
18	木津 芳枝	公募委員		欠席
19	原田 康子	公募委員		出席
20	本郷 永子	公募委員		出席